

「震災復興支援・募金活動とボランティア活動」

宮城県中新田高等学校

1. 活動の概要

(1) 震災被災者支援募金活動

4月15日(土)、16日(日)の2日間にわたり、中新田高校生徒会執行部が主体で16名の生徒が、宮城県加美郡加美町中新田町内のスーパーマーケット2店舗において震災被災者支援のための募金活動を行いました。

この活動は生徒会から自発的に申し出があり企画され、執行部以外の一般生徒からの自主的な参加・協力を得て行われました。2日間で598,505円の募金が町民の方々から寄せられました。

この募金は、日本赤十字社に寄託しました。

(2) 震災復興ボランティア活動

6月22日(水)、体験学習の一環として第1学年生徒120名が宮城県東松島市で津波被害を受けた地域の復興ボランティア活動に取り組みました。

被災地支援活動として主に、道路の側溝に詰まった泥を掻き出す作業を行いました。

東松島市ボランティアセンターのご指導をいただきながら第1学年で計画・実施しました。

当日は朝8時過ぎに中新田高校をバスで出発し、ボランティアセンター到着後、10時頃から作業に入りました。まず、センター所員の方から活動についての指導を受け、班ごとに分かれて、スコップ等を使って泥のかき出し作業を行いました。

活動当日は気温が30度を超える真夏日で、泥のかき出しと袋詰め、加えて搬入作業は大変な作業でしたが、市の皆さんから感謝の言葉を掛けられるなど、充実した活動となりました。

2. 活動の成果等

(1) 震災被災者支援募金活動

震災まもない時期に生徒会の自発的、積極的活動として実施されました。16名の生徒諸君が自主的に参加し、生徒会の活動をサポートしました。

沿岸部に比して、加美郡内は比較的地震の被害が軽微でしたが、同郡内の中新田交流センターには南三陸町などで被災した方々が避難してきており、本校生徒にとっても被災者支援が身近な問題として意識されていました。

この活動は、生徒会の社会的良識と主体性を示すものとして大いに評価されるものです。

(2) 震災復興ボランティア活動

概要に書いたとおり、この活動は「総合的な学習の時間」の一環として実施されました。

ボランティアセンターとの連絡、バスの手配、泥よけのための雨合羽、作業用具等の事前準備については、第1学年主任を中心として綿密に計画・実行されました。

生徒達は事前指導の際、「大変そうだ。」「怖い。」などと不安を口にしていたましたが、実際に被災地を目の当たりにして、「報道で見聞きしたのと違い、直に被災地を見てショックだった。」「同じ宮城県民として何かしなければならなかった。」など思いを新たにした者が多く、ボランティア活動については、「街の方々から感謝の言葉を掛けられて嬉しかった。」「大変だったがやりがいがあった。」等の感想が多数見られました。

生徒会による震災被災者支援募金活動



第1学年震災復興ボランティア活動

